

1. 単元名『三番瀬を守るために』

2. 単元の目標

○三番瀬の学習を通して、塩浜の自然環境を守るために、自分たちにできることは何かについて考えを深め、実践を行うことができる。

3. 生徒の実態

生き物への関心が高い生徒が多く在籍している。また、9年生は7年生のときに塩浜ふるさと防災科の学習でも三番瀬について調べており、意欲的に学習に取り組んでいた。そのため、今回の学習でも三番瀬環境観察館の見学や清掃活動などの体験学習を取り入れることで、より意欲的に学習に取り組むことができるのではないかと考える。本学年の生徒は、調べたことや学習したことから自ら課題を見つけ、解決方法を考えることが苦手であると分かった。しかし、義務教育学校ということもあり、学年関係なく仲が良く、話し合いや調べ学習を積極的に行う生徒が多い。対話的な活動や交流的な活動をうまく取り入れ、意欲的に学習に取り組むことができるよう支援していきたい。

4. 期待する生徒像【グループ目標】

ふるさと塩浜の海の環境を守るリーダーの育成

5. 教師の思いや願い・手立て

- 三番瀬環境観察館の見学や清掃活動など、生徒の興味関心を引き出すための体験的な活動を大切に学習に取り組んでいく。
- 専門家のゲストティーチャーの活用を行うことで、意欲的に学習に取り組ませ、より深い知識を身につけさせたい。
- 下級生や上級生などに発表する活動を設定することで、情報を収集・選択し、より分かりやすい方法で表現できるようにしたい。
- 他のグループの発表を聞くことで、ふるさとや防災について今後の自分たちにできることを考える機会にしていきたい。また、友達と学ぶことの良さや大切さに気付いてほしい。

6. 学校行事・他教科との関連

自然と人間(理科)

身近な自然環境や地域の自然災害などを調べる観察、実験などを行い、自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について、科学的に考察して判断すること。

郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度(道徳)

郷土の伝統と文化を大切に、社会に尽くした先人や高齢者に畏敬の念を深め、地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、進んで郷土の発展に努めること。

自然愛護(道徳)

自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることの意義を理解し、進んで自然の愛護に努めること。



7. 単元活動計画(総時数 15 時間)

第1部『三番瀬について知る』

(10 時間)

- ・三番瀬チームの目標、授業計画を考える。(2)
- ・三番瀬について調べる。(3)
- ・三番瀬についてゲストティーチャーに話を聞く。(1)
- ・三番瀬環境観察館を見学し、三番瀬を守るために自分たちができることを考える。(4)

第2部『三番瀬を守るために私たちにできることを考える』 (4 時間)

- ・分かりやすく伝えるための工夫をする。(3)
- ・発表会を行う。(1)

第3部『今後の塩浜ふるさと防災科について考える』 (1 時間)

ここでつきたい力(評価規準)

ふるさとへの関心・意欲・態度

- ・三番瀬の生物や環境について興味をもち、意欲的に調べようとしている。
- ・調べたことやそこから考えられる問題点を解決するための方法を進んで伝えようとしている。
- ・ふるさとへの愛着をもち、その環境を守りたいという気持ちで活動に取り組んでいる。

ふるさとについての知識・理解

- ・三番瀬の生物や環境が抱えている問題を理解している。
- ・三番瀬の生物や環境を守る方法を理解している。

問題解決の能力

- ・自分たちが調べたいと思うテーマを選ぶことができる。
- ・必要な情報を収集・選択してまとめることができる。
- ・調べたことから新たな課題を見つけ、解決の方法を考えることができる。

コミュニケーション能力

- ・三番瀬について分かりやすく伝えるために、発表方法を工夫している。

8. 成果(○)と課題(●)

- 自分の興味関心をもったことについて、調べることができた。
- 地域の素材(浦安市三番瀬)を活用することができた。
- 専門家の方と協力して学習を進めることができた。
- 体験学習を取り入れることで、興味関心をもって学習に取り組むことができた。
- 昨年度は実践できなかった「三番瀬を守る活動」を、今年度は「浦安市三番瀬を守る会」の方々のおかげで実践できた。
- パワーポイントや動画などを使って、わかりやすく発表することができた。
- 三番瀬を守るために自分たちにできることを考えさせる時間を十分に確保すること。
- 少ない時間の中で、どのように体験活動を取り入れることが生徒にとって有効か。
- 地域を巻き込んで活動するにはどうすればよいか。
- 一過性のもので終わらせないためにはどうすればよいか。